

全日中事務局だより

令和元年度第3回理事会が、令和2年1月24日、国立オリンピック記念青少年総合センターにおいて開催されました。この会において提案し承認された2点について御報告いたします。

▼研究大会の参加申し込みと参加費の納入方法について

○各都道府県中学校長会事務局から大会事務局に申込書を送るという手続から、一旦は取扱業者に送付し、その後開催事務局に引き継ぐという提案をし、承認されました。

○大会参加費の納入方法については、県事務局を通さないで参加費を直接大会事務局へ納入できるということをご提案し、同じく承認されました。

各都道府県事務局は、参加申込票に別紙参加者名簿を添えて株式会社近畿日本ツーリスト関西トラベルサービス

センター西日本へ郵送してください。また、併せて参加者名簿をメールで送ってください。参加申込票と参加者名簿は、近畿日本ツーリスト関西で確認の上、大会事務局へ取り次ぎます。今まで直接事務局に送られていたため、業者が各種の案内をしたにもかかわらず、業者が申込書を受けずに事務局に送っていたため、様々な問い合わせについて困ったということでした。また、大会参加費の中には事務取扱料300円を含む形になっております。今ままで、インターネット等で申し込みをすると、300円を一括して一律に納めるということに不都合が生じておりました。このため、コンプライアンス（法令遵守）という立場から、参加申し込み票及び参加者名簿は各都道府県中学校長会事務局から取扱業者へ一旦送付することに變更し、併せて参加者名簿のファイルを送ることといたします。

従来から、業者の取扱内容の観点から、法令遵守の点で課題があったとの指摘があり、これを改め精査し、適切な取り扱いとなりますよう變更しました。繰り返しになりますが、業者が窓口となり、大会参加票と申込書を各都道府県中学校長会事務局から一旦受け取り、名簿作成等をした後、開催地区の事務局へ取り次ぐというように改めることとなりましたので、御理解の上御協力ください。

大会参加費の納入法について、今年度11月に開催されました臨時常任理事会の席上、大都市中学校長会連絡協議会で、市の中学校長会から、市教育委員会には宿泊費あるいは交通費、旅費とともに大会参加費を一括して納めたいという提案がございました。様々な観点から、全日中事務局としては、組織運営上の原則は原則として、会費ではなく研究大会の参加費であるため、市教育委員会の方針に配慮し、手続上の

事務処理として了解せざるを得ないと考え、各方面への説明と調整を進めてきました。様々な事情がこれ想定されることから、大会参加費の納入につきましては、県事務局を通さずに納めることができるようになりましたので、この件につきましても御理解の上御協力ください。

▼東日本大震災支援委員会の今後の取組等について

今後の被災3県への支援の在り方の具体策提案

- ・令和2・3年度は、これまで通り、夏季休業日中に被災3県を訪問するとともに、訪問後は報告書を作成し、常任理事会、総会等の場において報告する。
- ・令和4年度以降は、引き続き各部署の活動として、様々な支援、及び風化防止に向けた取組を進めていく。

【例】

○予算対策部が取り組む予算要望の中に、復興に向けた支援内容を盛り込む。

○復興の状況や課題等について、年に一度は、編集部が作成する機関誌に掲載したり、全日中ホームページに掲載したりする。

○生徒指導部が実施する調査において、防災教育の設問の中に「東日本大震災」に関わるものを残す。

○全国学校安全教育研究会が主催する「全国学校安全教育研究大会」の実施に際し、発表校において、東日本大震災を題材にした授業、講演会等を実施していただくよう、全国学校安全教育研究会に対し協力をお願いするとともに、全日中と連携した風化防止に向けた取組の一つとして、承認していただけるようお願いする。

※全日中は、これまで毎年度、全国学校安全教育研究大会の実施に際し、後援をしている。本研究大会の研究発表校では、毎年度、東日本大震災を題材にした授業、講演会等を実施しており、来年度・再来年度も予定している。引き続き、後援を続け、上記のことについて協力を依頼する。

次年度以降の東日本大震災支援委員会の在り方の提案

・平成30年度の理事会の場において、全日中として、10年間は東日本支援を継続して行うことを確認している。このことを踏まえ、令和3年度までは本委員会を設置する。

会員訃報

茨城県水戸市立内原中学校長

朝倉美広様 五十六歳一月二十五日

謹んでお悔やみ申し上げ、御冥福をお祈り申し上げます。

(事務局長 松澤 宏尚)